

集団検診を受けましょう

「胃がん」早期発見が決め手

働き盛りの人を襲う病気の中で一番多いのがんです。中でも、日本人は胃がんが最も多く、手遅れで死亡する人が、後をたちません。この恐しいがんから自分を守るには、どうしたらよいでしょう。

町では、胃の集団検診に約百万円の予算を計上して、がんの早期発見に努めています。

胃の集団検診は、がんとか潰瘍とかの正確な診断をつけることを目的にしています。胃に異常があるか否かを見つけ、異状のある人には精密検査を受けてもらうことが目的です。

「精密検査を受けてください」と言われても驚くことはありませんほとんどは正常で、胃がんは、一



〇〇〇人の検査者から二〜三人発見されるだけです。もし発見されても早期のものでしたら、手術で完全になおります。検診を怠って手遅れになったのでは、あきらめられません。

がんは、早期発見が第一です。第一次検査（X線検査）

精密検査要す

精密検査(直接X線検査、胃カメラ)



早期発見

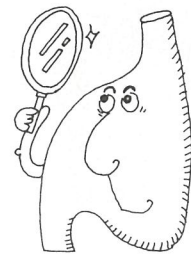
がんの一番やっかいな点は「無症状」ということです。はっきりとした症状があらわれたときは、もう手遅れです。

自分では、気がつかない早期にがんであることが解れば、それほど恐い病気ではありません。早期の胃がんは、手術すればほとんど治ります。

早期胃がんと進行がん

早期胃がんは、胃の粘膜の表面からおこります。

進行するに従い粘膜の内側に広がり、しだいに胃壁深くくこみ入ります。放っておくと肝臓や他の内



臓にまで転移していきます。

胃の粘膜だけにとどまっている時期を早期胃がんといいます。

この時期に発見できるのは、定期検診以外にないのです。毎年受診して、早期発見に努めましょう

五十二年「胃」集団検診は、次のとおり行います。

早目に申し込んでください。

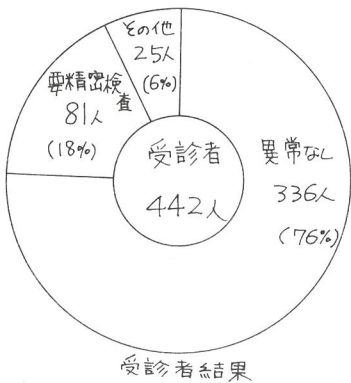
申し込み期日

四月一日〜五月十二日

検診日

五月二十三日〜五月二十七日

男子の受診を望む 五十一年度検診結果



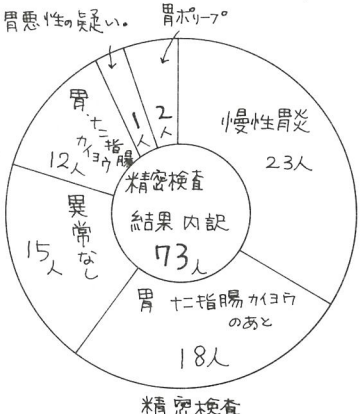
五十一年度行った集団検診は、四四二名の受診者がありました。

結果は上表のとおりですが、町女別では、女子二八二名に対し、男子一六〇名でした。胃がんは

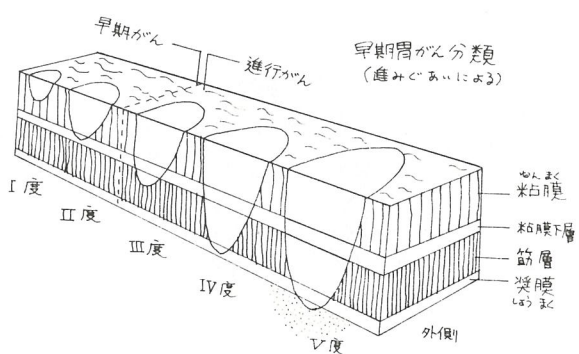
女子より男子に多発していますので、より多い男子の受診が望まれます。

精密検査が必要と診断された者の内訳は下表のとおりですが、

「毎年精密検査に呼ばれても、変



わらないからもう受けない」という人はまちがいです。日頃から胃の弱い人は、節制も大切ですが、毎年検診を受けて、変わりのないことを確かめることが大切です。



胃壁の断面図